

「持ち株会社」

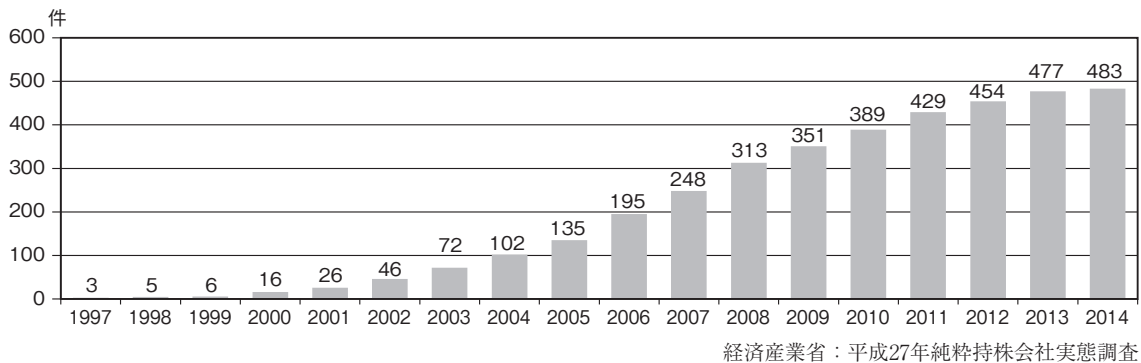
10月1日、常陽銀行（水戸市）と、傘下に足利銀行を持つ足利ホールディングス（HD、宇都宮市）が経営統合し、「めぶきフィナンシャルグループ（FG）」が発足しました。HD、FGはいずれも持ち株会社です。今回は「持ち株会社」を取り上げます。

1. 「持ち株会社」とは？

持ち株会社とは、他の株式会社を支配する目的で、当該会社の株式を保有する会社をいいます。自らも事業を行う一方で、他会社の支配を目的に当該会社の株式を保有するものを「事業持ち株会社」といい、株式保有により他会社を支配することを主目的とする会社を「純粋持ち株会社」といいます。現在、「持ち株会社」という場合は後者の純粋持ち株会社を指します。社名に「ホールディングス（HD）」を付している場合が多いですが、傘下にあるグループ企業が金融機関である場合は、金融持ち株会社として「フィナンシャルグループ（FG）」の名称を使用しているケースが多くなっています。

1997年に独占禁止法が改正され、持ち株会社が解禁となりました。戦後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の政策により、旧財閥が解体され、財閥の復活を阻止するため、持ち株会社は設立が禁止されていましたが、経済発展やビジネスの国際化とともに、世界との競争に打ち勝つため、いわゆる「金融ビッグバン」の一環として、グローバルスタンダードであった持ち株会社が解禁となったものです。

<参考：持ち株会社数の推移>



2. 持ち株会社のメリット、デメリット

(1) 主なメリット

- ・グループ全体としてのスピーディな戦略策定、意思決定が可能
- ・経営資源の最適化など、グループ全体の利益を念頭においた経営が可能
- ・事業買収・売却、合併などのM&Aが容易になる

(2) 主なデメリット

- ・傘下会社間における一体感（連携）醸成が難しい
- ・傘下会社増加による間接部門のコストが増加する

閑話ひとつ

- ▶ 秋も深まり、駅伝シーズン到来です。
東日本女子駅伝、市町村対抗ふくしま駅伝を皮切りに、都大路を男女高校生が駆け抜ける全国高校駅伝そして国民的行事の箱根駅伝をはさんで、男女の都道府県対抗駅伝と続きます。
- ▶ 本県は円谷幸吉さんや佐藤敦之さんをはじめ名ランナーを多数輩出し、現役では今井正人さん等男女選手が実業団や大学で活躍。また、箱根駅伝では多くの本県出身者が指導者として常連校を率い、競い合うなど駅伝県として自他ともに認めるところです。
- ▶ 長丁場なるがゆえにランナーの気力・体力はもちろん、全体で力の配分を考える戦略や相手方との駆け引き、さらには体調や気象条件の急変などのアクシデントへの対応が持ちタイム以上の快走や大きなブレーキにつながり、順位が大きく変動するスリリングな展開はまさに駅伝の醍醐味です。
- ▶ 今シーズンもまた、国内高校男子No.1の学法石川高校・遠藤日向選手をはじめ本県ゆかりの男女選手が大活躍し、私たちに感動と力を与えるとともに、本県の元気を国内外に発信してくれることでしょう。楽しみです。
(Y.M)